

# 令和5年度 住民型有償サービス 「マネージャー・スタッフ合同研修」を 開催しました！！

6月26日（月）に住民型有償サービス「マネージャー・スタッフ合同研修」を中津市教育福祉センターにて開催し、8つの団体より36名の参加がありました。

今回は「認知症の人の生活をささえる～その人らしく暮らせるために～」と題し、中津市包括支援センター村上“もの忘れ対応支援チーム”の栗田さんと末吉さんにご講話いただきました。

末吉さんからは、“もの忘れ対応支援チーム”の役割や支援内容について説明いただき、認知症のメカニズムや症状などについてもお話しいただきました。具体的な事例紹介も交え、実際にどう対応したかや支援のポイントなどもお話しくださいました。また栗田さんからは、認知症によって起こりうる様々な課題や問題についても改めて示していただき、それらの解決につながるような事業や制度、支援機関についてなど、細かくご紹介いただきました。そして、認知症支援では何よりも本人の「想い」や「出来ること」を理解して大事にすることが最も大切なことであることをお話しくださいました。

講演の後には、参加者同士でグループを作り、講話を聞いての意見交換をしました。現在活動している中で工夫していることや、今後の活動に活かそうと思ったことなど、有償サービススタッフとしての想いを語り合い、困りごとを抱える人に寄り添いながら活動することの大切さを改めて実感する良い機会となりました。



講師の栗田さん（右）と  
末吉さん（左）



## ＜参加者の感想（抜粋）＞

「まだ完全に認知症でないと思っている本人に対して、ちゃんと向き合って対応していきたいと思いました」

「認知症になっても『自分らしく生きたい、幸せに生きたい』『人生の最期に振り返ってみて良かったと思える人生を送りたい』そんなことがかなえられる地域にしていきたいと思いました」